

# 新島襄関連の文献目録 (38)

—著者・筆者別—

同志社社史資料センター

## お知らせ

『同志社談叢』に掲載された「新島襄関連の文献ノート」(1)～(24)は、本学人文科学研究所により一括して再配列され、『新島襄関係文献目録』(非売品)として2006年12月に刊行された。

## 凡 例

1. 配列は著編者名をアルファベット順にした。同一の著編者による文献は、発行（発表）年月日順とした。
2. 著編者については、次のような例外がある。
  - (1)無署名の文献のうち、筆者を特定しうる場合は〔 〕内に表示した。
  - (2)著編者が不詳の場合は、その文献が掲載されている雑誌名及び新聞名を著編者欄に掲げた。
  - (3)ペンネームの場合、それが本名より周知されている場合は、ペンネームに続けて〔 〕に本名を付した。
  - (4)翻訳の場合、著者（筆者）、訳者の順番で記し、訳者には適宜（訳）を補った。
3. 書名（論文名）は次のように表示した。
  - (1)単行本、研究紀要、新聞、雑誌には『 』を付した。
  - (2)論文名、記事、抜刷、パンフレット類には「 』を付した。
  - (3)英文単行本の書名はイタリックで表示した。
  - (4)同一文献内に同じ著編者の論考がある場合、それぞれ独立したものとして表示した。
  - (5)タイトルは原則的に原文どおりに表示したが、タイトルに「 』が含まれる場合、適宜『 』に変更した。
  - (6)タイトルに含まれる漢数字は、算用数字で表記した。
4. 出版事項は、次のように表示した。
  - (1)発行所、発行年は原本どおり表記するが、和暦年号は西暦に変更した。再版（以降も）の場合、内容等に関して大幅な改訂がない限り、初版の出版事項を記した。
  - (2)新聞・雑誌の場合、誌（紙）名、巻・号、発行年月、新聞の場合には発行年月日を付した。
  - (3)インターネット上の文献の場合はアドレス（URL）と閲覧年月日を記した。
  - (4)漢数字は算用数字に変更した。

2019年12月27日現在

著者（筆者名）	題 名	出 版 事 項
A		
青木保憲	「まわりの人が今まで思いもしなかったスゴイことを、あなたに教えてあげましょう」	『良心之全身ニ充滿シタル大丈夫ノ起り来ランコトヲ Doshisha Spirit Week 講演集 2017』、同志社大学キリスト教文化センター、2019年3月30日
D		
同志社大学同志社社史資料センター	ハリス理化学館同志社ギャラリー第19回企画展・岸和田城企画展『近代の夜明けとキリスト教—岸和田と同志社』	同志社社史資料センター、2019年7月2日
同志社大学同志社社史資料センター	「同志社の逸品 新島襄肖像画」	『同志社時報』147、学校法人同志社、2019年4月1日
同志社大学同志社社史資料センター	「同志社の逸品 ギュツラフ訳聖書『約翰福音之傳』」	『同志社時報』148、学校法人同志社、2019年10月1日
同志社大学良心学研究センター	『新島襄 365』	同志社大学良心学研究センター、2019年9月20日
F		
藤井尚人	「語るは恥だが、役に立つ（かも）」	『チャペル・アワー奨励集』302、同志社大学キリスト教文化センター、2019年10月31日
I		
井上勝也	「新島襄は強い人であった」	『新島研究』110、同志社大学同志社社史資料センター、2019年2月12日
石崎陽彩乃	「同志社で学ぶということ」	『2018年度 新島襄生誕記念懸賞論文入選作品集』2019、同志社大学同志社社史資料センター、2019年3月1日
伊藤莉那	「新島襄の愛」	『2018年度 新島襄生誕記念懸賞論文入選作品集』2019、同志社大学同志社社史資料センター、2019年3月1日
伊藤彌彦	記念シンポジウム「『同志社大学設立の旨意』を読む」	『新島研究』110、同志社大学同志社社史資料センター、2019年2月12日
K		
北垣宗治	「書評 自著を語る 複眼の思想：新島襄・英学史とリベラル・アーツ論」	『東日本英学史研究 日本英学史学会東日本支部紀要』18、日本英学史学会東日本支部事務局、2019年3月1日

北野菜々恵	「新島襄が社会福祉事業に与えた影響」	『2018年度 新島襄生誕記念懸賞論文入選作品集』2019、同志社大学同志社社史資料センター、2019年3月1日
小枝弘和	「新島襄の残した言葉」	『チャペル・アワー奨励集』302、同志社大学キリスト教文化センター、2019年10月31日
小枝弘和	「ラウンジ展『同志社のGLOCAL—京田辺とのあゆみ—』について	『良心之全身ニ充滿シタル大丈夫ノ起り来ランコトヲ Doshisha Spirit Week 講演集 2017』、同志社大学キリスト教文化センター、2019年3月30日
<b>M</b>		
松岡敬	「同志社らしさとは何か」	『チャペル・アワー奨励集』302、同志社大学キリスト教文化センター、2019年10月31日
三方稚葉	「新島襄の肖像画」	『2018年度 新島襄生誕記念懸賞論文入選作品集』2019、同志社大学同志社社史資料センター、2019年3月1日
宮庄哲夫	「明治十六年十二月七日」	『チャペル・アワー奨励集』300、同志社大学キリスト教文化センター、2019年3月25日
三宅彩由	「同志社における『キリスト教』」	『2018年度 新島襄生誕記念懸賞論文入選作品集』2019、同志社大学同志社社史資料センター、2019年3月1日
三好彰	「新島襄『英吉利文典直訳』の英和対訳版」	『東日本英学史研究 日本英学史学会東日本支部紀要』18、日本英学史学会東日本支部事務局、2019年3月1日
三好彰	「新島襄の英学事始め」	『新島研究』110、同志社大学同志社社史資料センター、2019年2月12日
森一郎	記念シンポジウム「同志社ハリス理化学校の設立」	『新島研究』110、同志社大学同志社社史資料センター、2019年2月12日
森田喜基	「新島の墓前におけるジョン F. ガウチャーの一枚の写真」	『新島研究』110、同志社大学同志社社史資料センター、2019年2月12日
本井康博	「同志社による近江伝道と新島襄の人脈：新資料・中島宗達宛新島襄書簡七通に寄せて」	『同志社談叢』39、同志社大学同志社社史資料センター、2019年3月1日
本井康博	新刊紹介「新島襄の教え子たち(ジャンル別)」	『同志社時報』148、学校法人同志社、2019年10月1日
本井康博	「ラットランドから仙台へ」	『良心之全身ニ充滿シタル大丈夫ノ起り来ランコトヲ Doshisha Spirit Week 講演集 2017』、同志社大学キリスト教文化センター、2019年3月30日

	本井康博	「奈良と新島襄—秘められた歴史的連鎖—」	『良心之全身ニ充滿シタル大丈夫ノ起り来ランコトヲ Doshisha Spirit Week 講演集 2017』、同志社大学キリスト教文化センター、2019年3月30日
N	中村信博	「輪郭打破—あなたはどこにいるのか—」	『良心之全身ニ充滿シタル大丈夫ノ起り来ランコトヲ Doshisha Spirit Week 講演集 2017』、同志社大学キリスト教文化センター、2019年3月30日
O	大越哲仁	記念シンポジウム「カレッジとユニバーシティ—新島襄の私立大学構想—」	『新島研究』110、同志社大学同志社社史資料センター、2019年2月12日
	大越哲仁	「同志社普通学校高等科—新島襄が実現させたりペラル・アーツ・カレッジ—」	『新島研究』110、同志社大学同志社社史資料センター、2019年2月12日
S	坂本恵子	「『連邦志略』を読む」	『新島研究』110、同志社大学同志社社史資料センター、2019年2月12日
	坂本清音	記念シンポジウム「新島襄と女性教育—『新島襄先生の遺訓』を手がかりに—」	『新島研究』110、同志社大学同志社社史資料センター、2019年2月12日
	清水翔	「良心運動と労働運動」	『2018年度 新島襄生誕記念懸賞論文入選作品集』2019、同志社大学同志社社史資料センター、2019年3月1日
	篠原熙比古	「自立した、ひとりの人として—対等で自発的な『奉仕者』としての湯浅治郎—」	『2018年度 新島襄生誕記念懸賞論文入選作品集』2019、同志社大学同志社社史資料センター、2019年3月1日
	杉岡秀紀	「京田辺と同志社と私—同志社京田辺祭はいかにして生まれたか—」	『良心之全身ニ充滿シタル大丈夫ノ起り来ランコトヲ Doshisha Spirit Week 講演集 2017』、同志社大学キリスト教文化センター、2019年3月30日
	鈴木直人	「機械的ニ流るゝの恐れあり」	『2018年度 新島襄生誕記念懸賞論文入選作品集』2019、同志社大学同志社社史資料センター、2019年3月1日
T	田島繁	『新島襄の足跡を辿る 海外・国内15コース』	私家版、2019年
	田島繁	『新島襄の足跡を辿る 南九州編』	『新島研究』110、同志社大学同志社社史資料センター、2019年2月12日

高田太	『『観梅の謎』を解く：『澤山保羅と新島襄』研究序説』	『梅花女子大学心理こども学部紀要』9、梅花女子大学心理こども学部、2019年3月1日
竹内力雄、 布施智子	『田中不二麿随行時の新島襄の身分：三等書記官心得から附属通弁へ』	『同志社談叢』39、同志社大学同志社社史資料センター、2019年3月1日
滝澤民夫 程華蓮	『増野悦興研究』 「同志社を陰ながら支えた山本覚馬」	六花出版、2019年9月30日 『2018年度 新島襄生誕記念懸賞論文入選作品集』2019、同志社大学同志社社史資料センター、2019年3月1日